

2025 年 1 月 1 日

「J-STAG 類似性チェックサービス」試用開始のお知らせ

日頃より、日本ペインクリニック学会誌へのご支援、誠にありがとうございます。皆様からの多くの論文投稿をいただき、学会誌はより充実したものとなってきていると感じております。

さて、研究論文における研究不正はなくなりません。査読過程で指摘出来れば良いのですが、いったん研究不正を含んだ論文が出版され、不正が発覚すると、論文撤回となります。もちろん不正では研究者の責任が最も大きいのですが、雑誌としても出来る限り不正論文の掲載を避ける必要があると考えております。論文撤回となった原因として、データの不正操作（捏造・改竄など）が多いのですが、剽窃も少なくありません。

そのため日本ペインクリニック学会誌では、すべての投稿論文を J-STAGE 類似性チェックサービスを用いて、2025 年 1 月より剽窃チェックの試用を開始いたしました。もちろん研究論文では、方法などは過去の論文と同じになることも少なくないと思います。ただ、考察などが同じになることはないと思います。試用期間に日本ペインクリニック学会誌としての剽窃判断基準などを決めていきたいと考えております。本格的に運用を始める時は、改めて皆様にお知らせいたしますので、どうかご理解いただけますようお願い申し上げます。

皆様には、学会誌の発展のためにご協力をよろしくお願いいたします。

学会誌編集委員長 山本達郎